

# 高齢者自立支援住宅改修給付事業のご案内

～ 補助金を利用した住宅改修をご検討されている高齢者の方へ～

## まずはじめに！

**住宅改修の検討を進める前に、現在抱えている住環境の課題について、地域包括支援センターにご相談ください。**



## なぜ相談が必要なの？

様々な解決方法を検討することで、住宅改修以外の方法で課題を解決できる場合があります。



高齢者のお体の状態は加齢や病気等で変わるため、柔軟に住環境を整えることが必要です。しかし、住宅改修は一度工事すると簡単に変更できません。また、工事費用も高額ですので経済的な負担も大きくなります。

まずは、家族の協力や福祉用具を活用することで、費用も低く抑えながら、解決できることがないか検討することが大切です。

さらに、住宅改修の補助金を受けるためにも、地域包括支援センターへの相談が必要となります。

## 給付を受けるには？

補助金の給付を受けるには、様々な解決方法を検討した結果、工事の必要性が認められる必要があります。



地域包括支援センター職員が訪問して、工事の必要性を確認しています。

特に、浴槽交換工事で補助金を申請する場合、地域包括支援センター職員による「課題解決シート」を用いた課題の整理と解決策の検討が必要になります。



住宅改修の必要性を確認する際のポイントは裏面をご覧ください。

# 住宅改修の必要性を確認する際のポイント

～ 補助金の給付を受けるために～

## ポイントは3つ！

### ✓ 住宅改修以外の方法で解決できないか？

特に福祉用具は利用者のニーズに合わせて、様々な種類が用意されています。活用できるものがないか、よく検討しましょう。

### ✓ 既存の設備をなるべく活用して解決できないか？

居室や浴室など部屋全体を改修しなくても、手すり取付や部分的な改修で段差解消して、解決できることも多くあります。

### ✓ 課題解決以外の目的（快適・利便性向上など）がないか？

補助金は利用者の自立した日常生活のために使われるものです。改修の目的が快適さや便利さを高めること等の場合は、対象となりません。

## 具体的には…

（例）「浴槽をまたぐ時にふらつくので、転ばないか不安」

浴槽を交換すれば、入りやすくなる。

折角なので、ユニットバスにしよう。



このようなプロセスでは、給付の対象として認められません。

- ☞ 手すり取付では、安心して入浴できませんか？
- ☞ 浴槽用手すりやバスボードは、活用できませんか？
- ☞ 課題に関係のない所まで、工事していませんか？



「浴槽をまたぐことが不安」であれば、その課題に着目して、課題解決のために、上記3つのポイントを踏まえ、様々な改善方法を検討していくプロセスが必要です。

補助金の支給決定は最終的には市が行います（必要性によっては認められないこともあります）。そのため、上記のポイントについて、地域包括支援センターと事前によくご検討ください。



【問合せ】

府中市福祉保健部介護保険課介護サービス係

TEL：042-335-4470